平成２７年度「大阪府における子ども読書活動推進の取組み調査」結果の概要

資料２

1. 調査対象



２　調査の結果概要

①　学校（小学校・中学校・高等学校・支援学校）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 平日毎日図書館を開けている学校 | Ｈ２７ | Ｈ２２ |
| 公立小学校 | 72.6％ | 69.0％ |
| 公立中学校 | 63.3% | 57.0% |
| 公立高等学校 | 9４.４% | 95.8% |
| 公立支援学校 | ６0.0% | 52.8% |

* 学校図書館の開館状況は、「平日毎日」開館している学校が５年前に比べて増加しているものの、いまだ、公立小学校では27.0％、公立中学校で32.3％の学校は、毎日開館されていない。また、開館時間も限定的であり、「全日開館」している学校は、15～35％といずれの校種でも低い。

私立学校については、公立学校より「平日毎日」、「全日開

館」の割合が高くなっている。

* 公立図書館との連携について、公立小学校は90.5％と高い割合で実施されている。一方、公立中学校は、５年前と比べて増加しているものの56.9％にとどまっている。また、公立高等学校、支援学校では、25％程度であり、５年前と比べて減少している。

連携していない理由については、「連携したいができていない」が、公立小学校では連携未実施校の3分の２を、公立中学校、公立支援学校では、半数を占めている。

公立高等学校は、「連携する必要がない」が過半数を超え、連携の必要性を教職員があまり感じていない。

公立図書館と連携している私立学校の割合は30％に満たず、、連携をしていない理由は「連携する必要がない」が多い。

* ボランティアとの連携は、公立学校のいずれの校種でも増加している。

しかし、校種間の差は大きく、公立小学校が86.2％と高いのに比べ、公立中学校では49.5％、光立支援学校では、35.6％、公立高等学校では16.4％と低くなっている。

また、連携をしたいができていない理由としては、いずれの校種でも「ボランティアがいない」が多く挙げられている。

私立学校については、小学校で58.8％、中学校や高等学校で数％という現状である。

* 学校で実施されている読書活動推進の取組みとして、「図書館利用のオリエンテーション」はいずれの校種でも実施されていることがわかる。

また、公立小学校では、「一斉読書」、「図書の読み聞かせ」、「教室に本を設置する」などが90％

以上と高いことに加え、「コンクールへの参加」も85.2％と多くの学校で取り組まれているが、「家読の推奨」（36.3％）や「ノーテレビノーゲームデイなどの取組みの推奨」（8.1％）など家庭をまきこんだ取組みは、少ない。

公立中学校では、「一斉読書」、「教室に本を設置」、「コンクールへの参加」などが70％前後と多くの学校で取り組まれているが、「ビブリオバトル」（5.8％）や「ブックトーク」（16.2％）、「教職員による本の紹介」（39.2％）等、子どもがいろいろな本に出会えるような取組みは少ない。

府立高等学校では、「必読書や推薦図書のコーナーの設置」（89.3％）、「教職員や学校図書館担当職員による本の紹介」（65％程度）と本を紹介する取組みが多く実施されているが、「一斉読書」（12.4％）、「ビブリオバトル」（9.0％）など、子どもが本を読むきっかけになる取組みは少ない。

* 児童・生徒が本を読みたくなるために有効な取組みとしては、小中高とも学校図書館の充実（蔵書の充実、借りやすさ、雰囲気の改善）と回答する学校が多かった。

②　幼稚園・保育所（認定こども園は、それぞれの形態に応じてどちらかに含まれる。）

* 保護者への啓発を実施する公立幼稚園・保育所が９５％を越えている。その要因の一つには、今回、新たに調査項目に加えた「家庭への絵本の貸出」が公立幼稚園では80.4％、公立保育所では、76.0％と高い割合で実施されていることがある。また、「おすすめ絵本の紹介」（公立幼稚園68.6％、公立保育所52.0％）も５年前に比べて増えている。

私立幼稚園、民間保育所における保護者への啓発については、公立幼稚園・保育所に比べると若干割合が少ないものの私立幼稚園67.8％、民間保育所81.6％と5年前に比べて増えている。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 絵本ルームがある | うち  蔵書冊数が500冊以上 |
| 公立幼稚園 | 96.6％ | 67.4％ |
| 公立保育所 | 77.2％ | 39.8％ |
| 私立幼稚園 | 85.1％ | 39.9％ |
| 民間保育所 | 78.4％ | 37.6％ |

* 絵本ルームについては、公立幼稚園が、公立保育所や私立幼稚園に比べて充実している。（設置状況、絵本の冊数）
* 公立図書館との連携は、公立幼稚園、公立保育所とも70％前後と５年前とほぼ変わらない。

連携していない理由については、「連携したいができていない」施設が未実施の4分の３を占めている。

公立保育所は、「団体貸出」（83.9％）を、公立幼稚園（55.2％）に比べ多く実施しており、連携を望む内容としても「団体貸出」が52.9％と一番多く、本の充実を望んでいることがわかる。

また、幼稚園や保育所が、公立図書館との連携として望んでいるのは、「司書の派遣」「団体貸出」である。

私立幼稚園や民間保育所における公立図書館との連携は、私立幼稚園22.4％、民間保育所38.9％という現状である。

③　図書館

* 子どもの読書活動推進の取組みとして、「読み聞かせやおはなし会」は96.9％とほとんどの公立図書館で実施されている。次いで「子ども向け資料の展示」（78.9％）が実施されている。
* 障がいのある子どもに配慮した「おはなし会の実施」については、5年前と比べて大きく減少している。
* 外国人の子どもへの読書支援の取組みとしては、「外国語の絵本・児童書の配備」が62.1%と半数以上の館で取り組まれている。「おはなし会の実施」は、9.3％と少ないものの5年前と比べて比べると増えてきている。
* ボランティアとの連携は、90.1％とほとんどの公立図書館で行われている。ボランティアに対する研修は、図書館主催では33.8％、ボランティア主催では26.9％とあまり実施されていない。

④　公民館（公民館類似施設）・青少年教育施設

* 子ども読書活動の推進に関わる取組みについては、公民館、青少年教育施設の両方とも、「施設が企画する取組み」、「読書ボランティアが施設を利用して実施する取組み」が15～30％と低い割合である。
* 公立図書館との連携についても、「行っていない」が公民館59.8％、青少年教育施設で74.6％とあまり連携されていない。その理由としては「取組む必要が無い」が、公民館で78.８％、青少年教育施設で59.6％と多い。

⑤　保健センター

* 4ヶ月健診等で「乳児と保護者が一緒に絵本を楽しむ取組み」について実施している保健センターは、85.9％と５年前とあまり変わっていない。
* また、4ヶ月健診等以外の取組みでは、「1歳半健診時の絵本の読み聞かせ等」（26.9％）、「３歳半健診時の絵本の読み聞かせ等」（28.2％）、「出産前教室などでの絵本の読み聞かせ等」（12.8％）が増加傾向にあるが、実施している割合は低い。反対に「図書館の利用案内や絵本リスト等の配布」（50.0％）と、半分の保健センターで実施されているものの5年前と比較すると20％も減少している。

⑥　教育委員会

* 子ども読書活動の推進に関わる組織について、「庁内の組織」は５年前とあまりかわっていないが、「外部有識者を交えた組織」は、減少している。

⑦　児童・生徒・保護者

* 「本を読むことが好きな」児童・生徒の割合は、小学６年生44.2％、中学３年生38.9％、高校3年生32.6％と年齢が進むにつれて減少するものの1０％程度の差である。
* しかし、平日、休日に関わらず少しでも「本を読む人数」の割合になると、小学６年生87.2％、中学３年生75.4％、高校３年生50.9％と年代があがるにつれ40％近く減少している。
* 本を読まない理由としては、「本が好きでない」とする子は小学６年生で5.7％、中学３年生で11.1％、高校3年生で16.2％と低い割合である。
* 「本は好きだが読まない」理由としては、「時間がない」が多い。「時間がない」理由としては、回答の多い順に、小学６年生では「ゲーム」、「習い事やスポーツ活動」、「友達との遊び」、中学３年生では「塾や勉強」、「部活動や生徒会」、「テレビやインタネット」、高校３年生では「塾や勉強」「テレビやインターネット」、「電話やメール、ＳＮＳ」となっている。また、「読みたい本がないから」という理由は、各年代とも25％を越えている。
* 電子書籍については、平日、休日の両方とも全体の７0％以上が読んでいない。
* 「読む本をどのように手に入れるか」については、「書店で買う」がどの年代でも一番多く、小学６年生で65％、中学3年生、高校3年生では75％を占めている。小学６年生については、「学校図書館で借りる」も62.1％と高く、学校図書館が利用されていることがわかるが、中学３年生、高校３年生では、15～25％と低い状況である。
* 読む本の選び方については、「書店や図書館で見て、気になった本」や「自分の好きなジャンルの本」がいずれの年代も60％を超えている。また、「アニメや漫画の原作や関連の本」も、40％前後と高い割合である。
* これまでの読み聞かせを「よくしてもらった」または「ときどきしてもらった」割合は、「小学校に入学する前」には85.1％と平成23年度の大阪府学力・学習状況調査（小6、中3実施）と比べて高い割合であるものの、「小学校低学年」では、50.1％、「小学校高学年」では、9.0％と大きく減少している。
* 保護者が読み聞かせ以外に実施している読書のきっかけづくりとしては、「子どもが読みたがる本を買う」「子どもと一緒に書店に行く」が高い割合で回答されている。
* 読み聞かせの有無と子どもの読書好きとの間には、「小学校に入学する前の読み聞かせ」、「小学校低学年での読み聞かせ」と相関関係がある。